

グラスミックス

平成20年9月25日
NETIS 登録実績あり

締め固まらないから根がしっかり張れる、柔らかく排水性が良い、芝生に最適な基盤土壌です。
校庭・園庭芝生化、多目的広場、グラスパーキング、商業施設、ゴルフ場、競技場、
軌道敷緑化などに採用頂いています。26万㎡以上の納入実績。

グラスミックスが「高品質なターフ」を維持できる7つのポイント

Point 1 良好な生育基盤を創出

多孔質の火山礫を主骨材として、生育助材を配合しています。砂の3倍の保水性、保肥力は1.6倍。空隙は約30%、重力水を速やかに排水します。年間を通して地中の温度差を土や砂に比べ一定に保つことで、病害の無い丈夫な芝草を育てます。



Point 2 車両の乗り入れが可能

修正 CBR 値 20%以上は路盤と同等の耐圧性能。25tの大型はしご車がアウトリガーを出して作業ができることが実証されています。公園等の臨時駐車場にも多くの採用実績があります。



Point 3 プレミックスでお届け

現地での配合攪拌ではなく、プレミックスされた材料を1㎡フレコン袋で納入します。現地で敷き均し、転圧、整地するだけなので、品質管理のバラツキを無くすることができます。



Point 4 経年変化がありません

臨時駐車場で13年、校庭芝生で10年の導入実績があります。経年変化を継続調査しています。

Point 7 各種の受賞・認定

- 第37回環境賞「優良賞」受賞：日立財団・日刊工業新聞主催、環境省後援
- 第14回屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール「審査委員会特別賞」受賞
- 東京都新材料・新工法登録
- 国土交通省新技術情報提供システム NETIS 登録
- UR 都市機構仕様書登録 他



Point 5 雨水流出抑制機能

近年増加しているゲリラ豪雨は、1時間に100mm近い雨を降らせず。透水能力の高いグラスミックスを使用することにより1㎡当たり50リットルの雨水流出抑制施設として活用することができます。

※流出抑制施設として活用する場合は自治体担当者にご確認ください。

Point 6 衝撃緩和性能

グラスミックスを用いた芝生のボール弾み率は33%で、国際サッカー連盟(FIFA)の基準35.3%と同等であることが実証されています。



「環境賞」とは

わが国の環境保全活動の発展を図るために、環境庁(当時)の後援を得て、1974年に日立環境財団と日刊工業新聞社との共催で設けられた賞です。受賞歴の中には、ハイブリッド車やエコキュート等があります。

表彰の対象者は、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な研究・開発・調査、あるいは実践活動において画期的な成果をあげるか、その成果が期待される個人や企業・団体です。

▶日立財団ホームページ <http://www.hitachi-zaidan.com/kankyo/index.html>

こんな場所にも使われています



早稲田大学
所沢キャンパス 陸上競技場

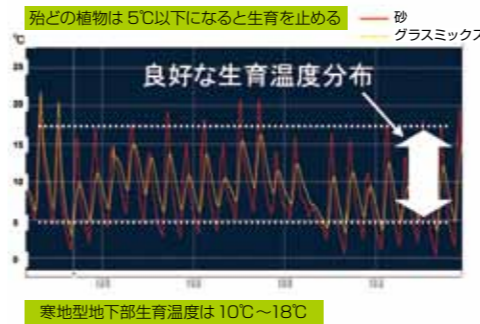
※グリーンアクアミックス又はJ・ミックスをグラスミックス下部に使用することで、早稲田大学所沢陸上競技場、横浜市グランモール公園の芝生は無灌水で生育しています。所沢では2015年夏季に19日、2016年夏季に20日間降水なし。横浜では2016年夏季に13日間降水がありませんでした。



熊本市電通町筋電停軌道敷緑化

砂とグラスミックスの1日の温度差比較 (地中10cm)

土壌温度比較 冬 12月27日~1月17日



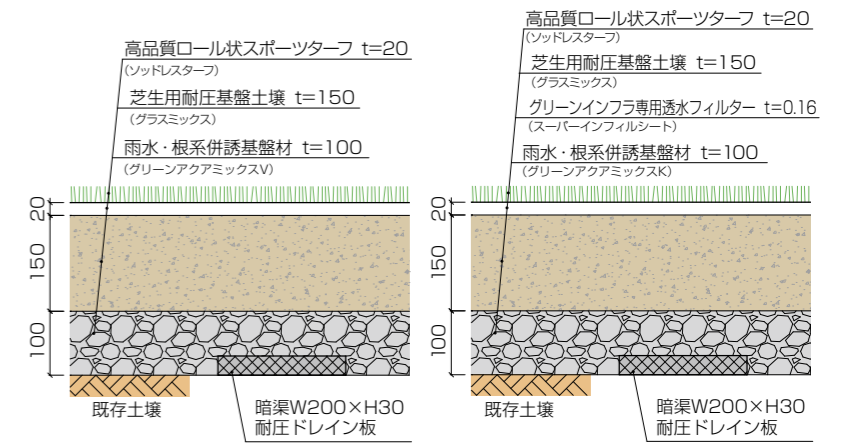
一日の温度差(最大値)

	砂	グラスミックス
冬季	18℃	8℃
夏季	7℃	4℃

「グラスミックス工法」断面図(例)

●東日本仕様

●西日本仕様



※臨時駐車場として使用する場合、グリーンアクアミックスの厚さは150mmになります。他にも地域やケースにより仕様異なりますので、設計時には必ずお問い合わせください。

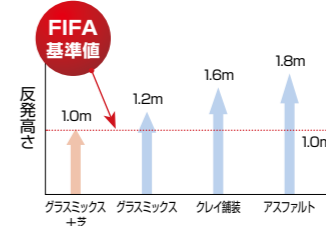
衝撃緩和性能実証試験でサッカースタジアムと同等の柔らかさを実証!

3mの高さから自然落下させたサッカーボールのバウンド高さからグラスミックスの柔らかさが証明されました。



グラスミックス+芝生

●衝撃緩和性能は国立競技場と同じ!



グラスミックス



クレイ舗装



アスファルト

1.0m
FIFA 基準
35.3%と同等